

2023年
11月号

明石市議会

自由民主党明石

自民党

明石の成長と発展。私たちが前へ進めます！

ごあいさつ

突然ですが、皆さんこの数値をご存じでしょうか？

明石市の製造品出荷額等：1兆2273億円（調査年：2020年）

全国順位：43位 県内順位：4位

明石市は全国でも経済が盛んな有数の地域です。ある意味、『豊かなまち』であるかもしれません。

私は明石で生まれ、豊かな海のそばで育ちました。子供のころから、少し歩けば、学校、公園、商店街、そして山陽電車とJRの駅がありました。また、働く場所も多くありましたし、今もあります。明石市は都会とまでは言えませんが、それなりに暮らしやすいまちです。市民の皆様も、政治や行政に大小それなりの不満をお持ちかもしれませんが、『明石はそれなりに暮らしやすいまち』であるというところは概ねご納得いただけるのではないかと思います。

では、『この暮らしやすさ』『豊かさ』は誰が創ってきたのでしょうか。答えは二つあると考えます。まずは、今お住いのすべての方々です。そして二つ目は未来を豊かにしよう、日本を、明石を発展させようと努力されてきた先人の方々です。あの線路も道も港も、水道管、下水道、学校も公園も、工場もショッピングモールも全て、先人の功績であります。

そうであれば、現在、政治を司るものとしての担いは、未来の発展も見据えた事業構築であると考えます。

だからこそ、我々自由民主党明石は議会やあらゆる場面で未来の発展を提言し、創造し続けております。

ほったらかし続けた旧図書館跡地の再利用や、税金を106億円投入して取得

した大久保北部雑木林の利活用、地域経済の足かせとなる交通渋滞対策（江井ヶ島松蔭新田線等々）、市民の安全な食材確保のための公設市場の建て替えや豊かな海づくり施策、経済安全保障の観点からの台湾との地域経済間交流等々、やらなければならない事業は山積されています。

市長がやらないのであれば、『我々が前へ進める』という強い思いを胸に、覚悟をもって政治に携わらせて頂いております。

想像してみてください、ダンプが行きかっていた旧砂利揚場が、明石海峡大橋と淡路島を望める文化や経済交流拠点（美術館やコンサート会場等）になることを。

想像してみてください、大久保北部の荒れ地が、未来の子供たちが活躍できる自然と融合したテクノパーク、市民の暮らし、食を届ける物流拠点になることを。

想像してみてください、数十年代わり映えのしない公園が、緑あふれる家族や仲間との癒しの空間になることを。

明石市議会 自由民主党明石
幹事長 千住 啓介

明石はまだまだ成長し続けます。未来のために！！



自由民主党神戸市会議員団と懇談

Pick up!

明石市公設地方卸売市場の今後について

明石市公設地方卸売市場は、全国的な流通の変動の中、取引高が下降傾向にある卸売市場業界においても、海外販路事業や学校給食の食材提供事業など、積極的な取り組みを展開しています。現在でも200億円の取引高を誇り、関西を中心に多くの消費者に食材を確保する重要な拠点であり、800人を超える市場従業員の消費活動も含め、明石の地域経済に大きな影響をもたらしています。

平成27年には指定管理者制度を導入し、市場内の業者が一体となって、明石の食の台所として、安全かつ安心できる新鮮で質の高い食材を市民に提供し続けています。

しかしながら、昭和52年の開設から、今年で47年が経過し、建屋は耐用年数を超え、耐震基準も満たしていないなど、老朽化が顕著になっています。天井からの落下物事故や、手すり、シャッターの

腐食が進行しており、建て替えを含む大規模な再整備が必要とされているのが現状です。

令和5年9月1日には、明石市議会議員全員が現地での研修・視察を実施し、その後の9月議会では、「明石市公設地方卸売市場の再整備について」の請願を審査をし、次の2点が全会一致で可決され、新たな一歩を踏み出しました。

①卸売市場再整備に係る具体的な方針を早急に定めること

②卸売市場再整備に係る調査、研究の予算を令和6年度予算に計上すること

公設市場の視察・研修を企画した自由民主党明石として、今後も市場の再整備が早期に実現するよう取り組んでまいります。



早くなんとかしなければ!



神戸市会表敬訪問

9月26日、自由民主党明石は、神戸市会および自由民主党神戸市会議員団に表敬訪問を行いました。この際、明石市と神戸市の連携強化のために、二つの要望書を提出しました。一つ目は、江井ヶ島松蔭新田線の神戸市部分の整備を優先的に進めるように求めるもので、二つ目は、阪神水道企業団からの新規受水に向けて協力を求めるものでした。両市の改めての友好関係の確認と未来志向の話し合いが行われました。

令和5年12月、 阪神水道企業団との契約が実現します！

2020年頃より、明石川の水質問題が注目されていました。泉前市長からの強い要望もあり、私たち自由民主党明石は、**阪神水道企業団への水源移行を積極的に神戸市に働きかけてきました。**

長らく問題視されてきた明石川の水質と、安定しない水量の問題から、別の水源への移行を模索しておりました。現状、市内の半分以上の地域が明石川の河川水に依存していますが、数年間にわたる阪神水道企業団との交渉を経て、今回契約に至ります。**令和7年度より、阪神水道企業団から安定的かつ安全な水道水の提供を受けることとなります。**

阪神水道企業団への水源移行は、2つの大きなメリットをもたらします。一つ目は、現在の明石川浄水場での水道水の単価が約115.49円/m³であるのに対し、阪神水道からの購入単価が約60.06円/m³と低くなること。二つ目は、明石川をこれからも水源とする場

合、新たな高度浄水処理施設の建設が必要となり、それには数百億円のコストがかかることとされているため、阪神水道企業団への移行により、このような追加の大型投資を回避することができます。加えて、新聞報道にもありましたが、明石川のフッ素化合物の濃度は、国の基準値を超えていないものの低い値ではなく、**阪神水道企業団の水質は明石川よりも安全である**とされています。これらを踏まえ、令和7年度からの移行開始を予定しています。

私たち自由民主党明石としても、できるだけ早い段階での水源移行が実現するよう、引き続き働きかけてまいります。



旧明石市立図書館の問題について

9月の議会では、再び旧明石市立図書館の問題が注目されました。この件に関して、これまで多くの議員が問題意識を持ち、発言してきました。明石市は「漫然と費用をかけて解体するのではなく、活用方法を検討したい」や「県と今後協議を進めたい」「県と市がwin-win（双方が得をする形）になるように考えたい」といった答弁がなされたが、結論は先延ばしにされてきたのが現状です。

土地返還の期限が過ぎ、違法とも言える状態が続いている中、解体を求める県に対し、もう結論を出すべきだと考えます。どちらにボールがあるとか、どちらが悪いとかいう議論がなされていますが、市議会も指摘してきたように、最終的な責任は土地を借用している明石市がこれまで解決策を提示してこなかったことにあると考

えます。市長としてこの認識を持ち、その上で**市が責任を持って解決策を示し、県と協議を進めるべきだ**と、私たち自民党明石は考えています。

この問題について、市民や事業者から、行政に対して「ごね得」が許されるといった誤った認識を持たれかねないと思います。

もし最終的に県との合意が得られたら、改めて今回の経緯や市の意思決定プロセスを再考する必要があるでしょう。

今後、明石市としては、

- ① 新しい施設や活用方法の検討
 - ② 国からの補助金を含む財源の確保
 - ③ 市民や公園利用者の意見の収集
 - ④ 市議会等との協議
- などを迅速に進めるべきだと考えます。

千住 啓介 幹事長
【所属委員会】建設企業常任委員会 委員長

石井 宏法 副幹事長
【所属委員会】総務常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長

井藤 圭順 会計幹事・監査委員
【所属委員会】総務常任委員会

辰巳 浩司
【所属委員会】総務常任委員会

三好 宏
【所属委員会】文教厚生常任委員会 副委員長

榎本 和夫
【所属委員会】議会運営委員会
生活文化常任委員会

灰野 修平 明石市議会 副議長
【所属委員会】文教厚生常任委員会

出雲 有希子
【所属委員会】建設企業常任委員会

ご意見・お問い合わせ

明石市議会 自由民主党明石
〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

FAX 078-918-0466 MAIL contact@jimin-akashi.jp HP https://jimin-akashi.jp
※いただきましたご意見は議会活動の参考にさせていただきます。 ※この広報紙は政務活動費で発行しています。